

住民意見交換会資料（二宮福祉センター）

1. 二宮小学校と緑ヶ丘小学校に関する学校再編案

○二宮小学校と緑ヶ丘小学校を統合する。【優先順位 2】

使用校舎	現緑ヶ丘小学校
校 名	二宮小学校、二宮緑ヶ丘小学校などを検討する

2. 審議会での主な内容

- ・両校とも全学年単学級であり、今後も減少が見込まれることから統合が望ましい。
- ・地理的にも近く、統合自体はさほど支障がないのではないかな。
- ・校舎については、校舎の新しさや使用できる教室数を考えると、緑ヶ丘小を使用することが望ましい。
- ・緑ヶ丘小を使用する場合、一部地区（黒戸など）の通学距離が長くなるので検討が必要。
- ・学区を考えると、二宮小の位置のほうが良いのではないかな。
- ・校舎は緑ヶ丘小で、校名は長い歴史を持つ「二宮」が入った形で検討してはどうか。

3. 茂原市立小中学校の適正規模（平成 27 年 3 月教育委員会会議で決定）

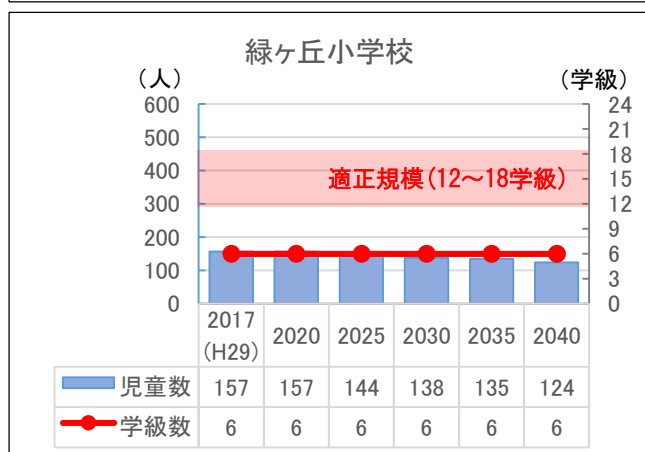
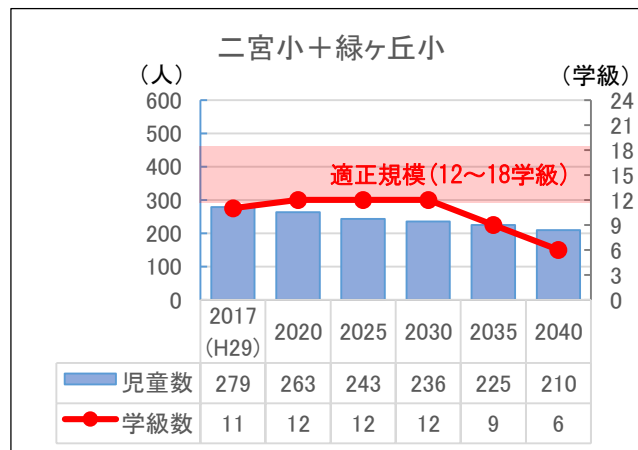
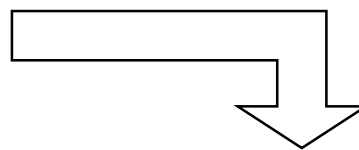
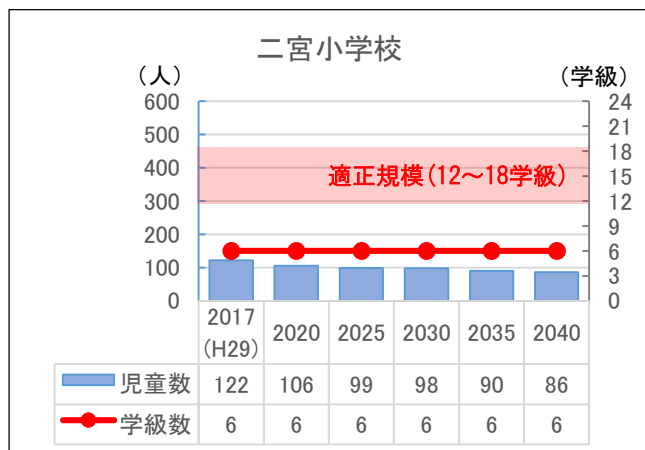
小学校 12 学級以上 18 学級以下（1 学年 2 学級～3 学級）
 中学校 9 学級以上 18 学級以下（1 学年 3 学級～6 学級）
 ※普通学級の学級数を基準とする。

4. 学校規模ごとの基本的な方向性（基本計画より抜粋）

○小学校

全体の学級数	文部科学省手引の抜粋	基本的な方向性
1～5 学級	・複式学級が存在 ・一般に教育上の課題が極めて大きい	・速やかに統廃合する
6 学級	・クラス替えができない ・児童数に大きな幅があり、少ない場合は特に課題が大きい ・更なる小規模化の可能性なども勘案	・今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合する
7～8 学級	・1 つ又は 2 つの学年を除きクラス替えができない ・全体の児童数なども勘案	・今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合を行う
9～11 学級	・半分以上の学年でクラス替えができる ・全体の児童数なども勘案し課題を整理	・統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討する
12～18 学級	【適正規模】	

○児童数の推計



※学級数(普通学級数)は、平成29年度の千葉県基準により、小1～小3は35人学級、その他は38人学級で計算。また、2020年以降は全学年同人数と仮定して推計している。